

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年4月30日（水）午後1時15分～午後3時30分
- 2 出席者 斎藤委員長、櫻井委員、和田委員、逸見委員、山田委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本
部長
説明補助者
総務課長、公安委員会事務室長、監察官室長、生活安全指導官、運転
免許センター長、交通聴聞官、運転免許センターセンター長補佐、警
備調査官

3 議題事項

(1) 警察署協議会委員の委嘱について

総務課長から、「公安委員会が委嘱している警察署協議会委員245人について、5月31日で任期満了となるため、6月1日から新たな候補者244人の委嘱及び辞職の申出があった1人の辞職を承認していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

(2) 運転免許証交付処分に係る審査請求の審理経過報告及び裁決について

監察官室長から、運転免許証交付処分に係る審査請求について、審理経過の報告があり、裁決した。

(3) 銃砲所持許可の取消しに係る聴聞結果及び量定案について

生活安全指導官から、「4月24日、許認可管理センター長を聴聞官として聴聞を実施した銃砲所持許可に関する処分対象者について、行政処分を決定していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、行政処分を決定した。

(4) 運転免許関係の意見聴取等について

交通聴聞官から、運転免許取消対象事案20件について、事案内容及び意見聴取等結果の説明があり、審議の結果、取消し20件の行政処分を決定した。

(5) 臨時適性検査に係る公安委員会認定医の選任について

運転免許センター長から、「一定の病気に該当する疑いがある場合の臨時適性検査等の診断を行う医師を新たに選任する必要があることから認定していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

委員から、「認定医が検査等を行った際の手当はどのようになっているのか。」旨の質問があり、運転免許センターセンター長補佐から「全て公費で支払っている。」旨の説明があった。

(6) 警察職員の援助要求に対する同意について

警備調査官から、「大阪府公安委員会から、「2025年日本国際博覧会開会式」韓国及びイスラエル両国のナショナルデーに伴う警備のため、警察職員の援助要求があった。」旨の説明があり、審議の結果、同意をすることとした。

4 報告事項

(1) 公安委員会宛て文書の受理について

公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた文書について、報告があった。

委員から、「通知文については、対応方針の説明を受けた後に検討した方が良いと思う。」旨の発言があった。

(2) 運転免許取消処分取消請求事件に係る判決（県側勝訴）について

監察官室長から、運転免許取消処分取消請求事件に係る県側勝訴判決について報告があった。

(3) 令和7年度新潟県警察通信指令・無線通話技能競技会の開催について

地域部長から、令和7年度新潟県警察通信指令・無線通話技能競技会の開催について、資料に基づき報告があった。

委員から、「事案が起きた時には、瞬時に判断して対応しなければならず、競技会を行い通信指令や無線通話の技能を高めることは大切なことだと思う。」旨の発言があった。

(4) 令和7年3月末の犯罪情勢について

令和7年3月末の犯罪情勢について、刑事部長から刑法犯の概況について、組織犯罪対策本部長から特殊詐欺、SNS型投資、ロマンス詐欺の概況について、生活安全部長から特殊詐欺等に係る被害防止の取組について、資料に基づき報告があった。

委員から、「刑法犯の認知件数が1月から3月は昨年より減少しており良い傾向だと思うが、昨年を見ると4月から認知件数が増えている。どのような要因からか。また、どのような罪種が増えているのか。そのようなことを分析して効果的な広報を行うことが、犯罪抑止につながると思う。」旨の発言があり、刑事部長から「4月ころは例年気候が良くなり犯罪者グループ等の活動が活発化することにより、認知件数が増加している。増える傾向がある罪種は窃盗であり、特に自転車盗が増える傾向があることから、自転車盗の予防に取り組んでまいりたい。」旨の説明があった。

委員から、「特殊詐欺については、様々な口実の詐欺メールが日々届いている状況が見受けられ、引き続き特殊詐欺防止の広報啓発が必要だと感じる。」

旨の発言があった。

委員から、「特殊詐欺の認知件数が依然として多い。特殊詐欺をなくするためには、首謀者を検挙することが必要だと思う。首謀者は多くない。様々な情報をまとめ、首謀者の検挙に努めていただきたい。」旨の発言があり、組織犯罪対策本部長から、「委員御指摘のとおり、首謀者はそんなに多くないと思われる。首謀者を検挙するためには全国警察を挙げて取り組む必要があるが、県警察としても分析等に取り組むなど、全力で取り組んでまいりたい。」旨の発言があった。

(5) 萬代橋等に対する文化財保護法違反、器物損壊事件の検挙について

刑事部長から、萬代橋等に対する文化財保護法違反、器物損壊事件の検挙について、資料に基づき報告があった。

委員から、「自動車免許を合宿で取得するために県外から来た若者が県内の文化財に落書き等をしないように、広報の検討をお願いしたい。」旨の発言があった。

(6) 匿名・流動型犯罪グループ総合対策推進会議の開催について

組織犯罪対策本部長から、匿名・流動型犯罪グループ総合対策推進会議の開催について、資料に基づき報告があった。

委員から、「特殊詐欺に関しては、特殊詐欺の事案を徹底的に拾い上げて警察庁及び全国警察が連携して対策につなげていくことが大事だと思う。徹底した対策会議を行ってほしい。」旨の発言があった。

(7) 令和7年1月から3月までの公安条例許可状況について

警備部長から、令和7年1月から3月までの公安条例許可状況について、資料に基づき報告があった。

5 その他

(1) 大型連休中の警戒について

本部長から、「大型連休中であるが、職員のワークライフバランス確保を図ることができるよう交代で休暇を取りつつ、警戒に間隙が生じないように努めてまいりたい。」旨の発言があった。